

# 架け橋プロジェクト・ボランティアバス(6月)参加者募集要項

Ver.1

架け橋プロジェクト

現在、東日本大震災・被災地は復旧・復興に向けた懸命の努力が続けられています。しかし、被災地があまりにも広がっていることもあり、まだまだ人手が不足しています。そこで、「東北-関西」架け橋プロジェクトでは、震災復興を支援するバスを走らせます。

2012年6月に走らせるバスに、乗車される方を募集します。

## (1) 募集日程

2012年06月15日(金) 朝、尼崎出発 → 16日(土)、17日(日)(宮城県七ヶ浜町内でボランティア作業) →

06月18日(月) 朝、尼崎帰着

※3泊4日で、内1泊は車中泊、15日(金)と16日(土)は簡易宿泊施設利用。

## (2) 行き先

作業コーディネート先:宮城県七ヶ浜町災害ボランティアセンター

作業予定場所:宮城県宮城郡七ヶ浜町内の各現場

宿泊先:月見岬ジレットハウス(宮城県宮城郡七ヶ浜町花淵浜)

※現地の状況は日々変動するため、行き先・活動地域が変更になる場合があります。(活動内容や活動地域を選ぶことはできません。)

※今回の宿泊場所は、災害ボランティアのみ、1泊500円で利用できる場所です。夜は貸し布団もありますが、寝袋持参が望ましいです。

## (3) 活動内容

七ヶ浜町内の田畑でのガレキ撤去。

※現地団体のコーディネートに合わせて活動します。

## (4) 募集人数 15名

※申込み多数の場合は、資格、経験等を考慮してこちらで選考します。

※関西に避難していて東北に帰省される方など、他の目的でのバス利用者に同乗して頂きます。

## (5) 応募対象

被災地で支援活動を希望する人で、心身健康な人。

※炎天下の野外での日中作業が2日続きます。体調等なども確認の上、お申込みください。

## (6) 参加費

**8千円**(消費税込み、「架け橋プロジェクト」に1口3,000円以上の寄付を頂いた方は、5千円)

※参加費は、出発日のバス乗車前にお支払い下さい。

※バスを片道のみ利用される方も、同料金です。

※参加費には、バス代金、ボランティア保険加入料、事前研修費を含みます。

※このほか、宿泊費(2泊)1,000円、食費、入浴料などは個人負担です。

※被災地でボランティア活動をするにあたり、「ボランティア活動保険(Cプラン・天災担保付)」に加入します。加入手続きはNPO法人シンフォニーで行います。

※キャンセル料について

出発日の前日から起算して遡って7日目にあたる日から2日目にあたる日まで 30%

前日 40%、当日 50%、出発後または無連絡不参加 100%

## (7) 持参するもの ※別表

(8)行程 予告なくスケジュールが変更になる可能性があります。ご了解ください。

日程	行程	宿泊(予定)	食事
1日目・金	08時：出発(往路、約15時間) ※阪神尼崎駅北側JTB前より出発 ※名神、北陸道、磐越道、東北道経由 (途中、JR郡山駅前、仙台駅前経由) ※経由ルート、経由地は変更の可能性があります 23時頃：宿泊施設到着、入浴、就寝	・月見岬ジレットハウス	昼、夕(途中SA)
2日目・土	08時過ぎ：宿泊施設出発 09時～15時：ボランティア活動 ※途中、七ヶ浜町災害ボラセンで昼食 ※活動終了後、スーパー銭湯で入浴 18時：宿泊施設到着、夕食、就寝	・月見岬ジレットハウス	朝、昼、夕(各自準備、または現地調達)
3日目・日	08時過ぎ：宿泊施設出発 09時～15時：ボランティア活動 ※途中、七ヶ浜町災害ボラセンで昼食 ※活動終了後、スーパー銭湯で入浴、夕食 20時：仙台市出発 (途中、JR仙台駅前、郡山駅前経由) ※東北道、磐越道、北陸道、名神経由 ※経由ルート、経由地は変更の可能性があります	・車中泊	朝、昼、夕(各自準備、または現地調達)
4日目・月	10時半頃：阪神尼崎駅北側到着、解散		朝(途中SA)

(9)申込締切

6月バス:6月6日(水)

(10)事前研修

6月バス 6月11日(月) 18:00～20:00 NPO法人 シンフォニー 研修室

※参加される方は、必ず事前研修を受けてください。

(11)申込み方法・申込み先

下記まで、メール、FAX等で「架け橋プロジェクト・ボランティアバス(6月)参加申込書」をお送りください。

架け橋プロジェクト事務局

担当:数山(かずやま)、積光(せきみつ)

Email:311@npos.cc

TEL:06-6412-8025 FAX:06-6412-8444

〒660-0826 兵庫県尼崎市御園町5 土井ビル2F NPO 法人シンフォニー内

(12)その他

※架け橋プロジェクトは、「東日本大震災被災地と関西の間で、人・モノ・情報を乗せて走るバスを運行し、震災復興の「架け橋」をつくる」ことを目的に動き始めている事業です。

(別表)

■ 装備品のリスト

<input type="checkbox"/> 食事	食事は各自でご負担下さい。現地の店舗、往路復路のSAでも調達可能です。
<input type="checkbox"/> 着替え	泥や汗で汚れます。2日分以上の着替えを準備してください。
<input type="checkbox"/> 防塵マスク	粉塵・臭気から口・鼻を守るためのものを準備してください。
<input type="checkbox"/> ゴム手袋	付けたまま作業しますので、分厚く脱げにくいもの。
<input type="checkbox"/> 軍手	滑り止めがついたものが便利です。
<input type="checkbox"/> 長靴	雨用長靴ではなく、上部が絞れ、靴底が丈夫な長靴(釘・瓦礫・ガラスを踏みケガをする可能性があります。)
<input type="checkbox"/> 雑巾	泥や埃で汚れます。
<input type="checkbox"/> タオル	汗を拭きとる、汚れを拭くなどに使用(複数必須)。
<input type="checkbox"/> ゴミ袋	汚れたものを入れたり、ごみ用に使用(複数必須)。
<input type="checkbox"/> 防寒着	今回は防寒着は不要です。
<input type="checkbox"/> レインコート	作業時は汚れます。作業着としても保温にも。
<input type="checkbox"/> ゴーグル	木片、泥などが目に入らないように。
<input type="checkbox"/> 常備薬	いつも使用するものがあれば、下痢止めはトイレ環境の厳しい現場に入るには是非備えて。
<input type="checkbox"/> 帽子(ヘルメット)	重作業の場合、頭を守ります。
<input type="checkbox"/> ウェストポーチ	ツアー中の荷物は活動中は持てません。作業のじゃまにならず、すぐ大切なものを取り出すにはこのスタイルが最適。デイパックはいちいち降ろさないと中のものを取り出せません。
<input type="checkbox"/> 携帯電話	緊急時必須。電池式非常充電器も。大規模余震や津波も想定してください。
<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	手が洗えない場面を想定して何かと重宝。
<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	バスにトイレはありません。また、現地に入ると半日トイレのない場所での作業となる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 筆記用具	伝言事項や依頼事項を正しくメモするのに必要。
<input type="checkbox"/> 寝袋、バスタオル	今回、現地の宿泊先は簡易宿泊施設です。 ※貸し布団もありますが、寝袋持参が望ましいです。
<input type="checkbox"/> 耳栓、アイマスク、エアピロー	バスでの車中泊や、相部屋で宿泊する場合に重宝します。

※ その他、必要と思われるものは各自で準備ください